

作成日 : 2011 年 12 月 27 日
改訂日 (V. 4BC) : 2023 年 8 月 7 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : シマジン粒剤 1 (CAT 粒剤)

会社名 : 日本農薬株式会社

住所 : 〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋 OM ビル

担当部門 : 環境安全・品質保証部

TEL. 050-3490-3494

e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号 : (平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)

(休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

用途及び使用上の制限 : 農薬(除草剤)、農薬登録以外の使用は不可

SDS 番号 : 512-03 (M11-29)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	発がん性	区分 2
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分 2
	水生環境有害性(慢性)	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

発がんのおそれの疑い

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手する。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
- 必要な時以外は環境への放出を避ける。
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。

【救急処置】

- ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診察／手当てを受ける。
- 漏出物を回収する。

【保管】

- 施錠して保管する。

【廃棄】

- 内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

国/地域情報 : -

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：2 - クロロ - 4, 6 - ビス(エチルアミノ) - s - トリアジン
(一般名 C A T、又はシマジン)

成分及び含有量：

成 分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
C A T	1. 0%	122-34-9	8-(3)-63	(5)-3846
<その他>				
鉱物質等	残	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
保温、安静に努め、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を石鹼で洗浄し多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受ける。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で、15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを容易にはずせる場合には外して洗う。直ちに医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで直ちに医師の手当てを受けさせる。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。

5. 火災時の措置

消火剤：噴霧放水、耐アルコール性泡、粉末消火器、炭酸ガス

使ってはならない消火剤：棒状放水

特有の危険有害性：火災によって刺激性又は毒性のガスを発生する恐れがある。

特定の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合には、容器及びその周囲に放水して冷却する。
汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
粉塵の発生を避ける。

環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。危険でなければ漏れを止める。

除去方法：飛散を防ぐため少量の水で湿らせた後掃き集めるか、専用の電気掃除機などで漏出物を吸引し、密封できる廃棄物容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。

二次災害の防止策：風下の人を退避させ、漏洩した場所の周囲にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
 適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。
 作業は換気の良い場所で行う。すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
 取扱い時には飲食、喫煙をしない。
 取扱い後は手や顔などの露出部をよく洗い、うがいをする。
 ラベルをよく読んでから保管・使用する。
 製品の飛散、漏出が無いようにする。
- 保管：
 換気のよい冷暗所で、密封できる容器に入れて保管する。
 小児の手の届かないところに保管する。
 食品や飼料と区別して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：
 取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度：
 TWA 値(シンジェンタ社) C A T (シマジン) 0.5 mg/m³
- 許容濃度：
 日本産業衛生学会 未設定
 A C G I H TWA 値 未設定
- 保護具：
 呼吸用の保護具 防塵マスク
 手の保護具 不浸透性手袋
 眼の保護具 ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴等

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態： 固体
 形状： 細粒
 色： 淡褐色
 オクタノール/水分配係数： C A T (シマジン) log Pow=2.1 (25°C)

10. 安定性及び反応性

- 安定性：
 通常の条件下では安定。
 反応性：
 通常の条件下では安定。
 危険有害な分解生成物：
 通常の条件では生成しない。加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

- 急性経口毒性：
 ラット LD₅₀ 値(mg/kg)^{*1} >5000
 急性経皮毒性：
 ラット LD₅₀ 値(mg/kg)^{*1} >2000
 皮膚刺激性：
 ウサギ 刺激性なし
 眼刺激性：
 ウサギ 軽度の刺激性
 皮膚感作性：
 モルモット 感作性なし
 発がん性：
 区分2に分類されるC A T を1%含有するため区分2とした。

^{*1} : C A T 2%粒剤に関する情報

12. 環境影響情報

生態毒性

水産動植物への影響	LC ₅₀	コイ(96hr)	761mg/L
	EC ₅₀	ミジンコ(48hr)	>1000mg/L
	ErC ₅₀	藻類(72hr)	9.2mg/L

13. 廃棄上の注意

注意事項 :

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県、知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類	クラス 9
国連番号	3077
品名	環境有害性物質(固体)、N.O.S(シマジン)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当

輸送時の安全対策 : 運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15. 適用法令

農薬取締法

化学物質排出把握管理促進法 : CAT(シマジン) (第一種・管理番号 113)

水道法 : 水質基準値 0.003 mg/L (CATとして)

環境基本法 : 環境基準値 0.003 mg/L (CATとして)

水質汚濁防止法 : 排水基準値 0.03 mg/L (CATとして)

16. その他情報

参考資料 : 製品安全データシート「シマジン粒剤1」(シンジェンタジャパン株式会社) 2023年1月12日改訂 第9版)

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。